



## 普天間飛行場代替施設建設事業に係る護岸工事の進捗状況



辺野古側の護岸の施工状況

### 目次

### CONTENTS

牧港補給地区（国道58号沿い）の返還及び西普天間住宅地区の引渡しについて…………… 2  
 防衛施設周辺対策事業…………… 3  
 沖縄市多目的アリーナについて…………… 3  
 嘉手納弾薬庫地区(知花地区)への移設に関する協議会の開催…………… 3  
 北部訓練場返還地の引渡式及び祝賀会について…………… 4  
 福田防衛大臣政務官宮古島及び関係自治体訪問について…………… 5  
 普天間飛行場代替施設建設事業の進捗状況について…………… 6

うるま市伊計島東側の海岸で発生したUH-1Yの着陸について…………… 7  
 読谷村で発生したAH-1Zの着陸について…………… 7  
 渡名喜村で発生したAH-1Zの着陸について…………… 7  
 うるま市伊計島西側の海岸で発生したMV-22の部品漂着について…………… 7  
 F-15戦闘機の部品遺失について…………… 7  
 第26回 防衛セミナー開催…………… 8  
 平成29年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式…………… 8  
 住宅防音事業に関するお知らせ…………… 8

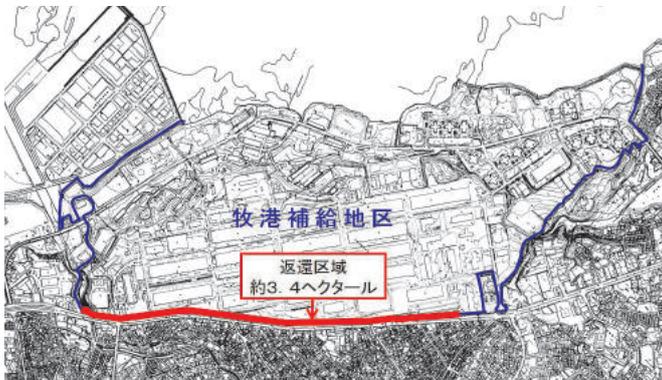
# 牧港補給地区（国道58号沿い）の返還及び西普天間住宅地区の引渡しについて

## 牧港補給地区（国道58号沿い）の返還

3月31日、牧港補給地区の国道58号沿いの土地〔約3.4ヘクタール〕が返還されました。

日米両政府は、沖縄における基地負担軽減の取り組みとして、平成25年4月に「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画」を公表し、さらに平成27年12月の日米共同報道発表「沖縄における在日米軍施設・区域の統合のための日米両国の計画の実施」において、統合計画を前倒して一部の重要な土地を返還することを合意しました。

今回の国道58号沿いの土地の返還も、この統合計画の前倒しの一環です。



※沖縄防衛局では返還後、土壌汚染調査、不発弾探査、廃棄物探査等のいわゆる支障除去措置を実施する予定です。



拡幅イメージ

## 西普天間住宅地区跡地の引渡し

キャンプ瑞慶覧の西普天間住宅地区は平成27年3月31日に米側から日本側に返還され、土壌汚染調査、不発弾探査、廃棄物探査等のいわゆる支障除去措置を終え、本年3月31日をもって土地所有者の方々へ引き渡しを行いました。

当該返還跡地は、沖縄健康医療拠点の形成を跡地利用の中心として、病院、学校、住宅等が計画されており、跡地利用のモデルケースとして期待されています。



西普天間住宅地区（返還前）



跡地利用イメージ

## 沖縄市に屋外運動場が完成

2月16日、「沖縄市屋外運動場（愛称：沖縄市グリーンフィールド）」の落成式典が挙行され、沖縄市長をはじめ多くの関係者が出席し、施設の完成を祝いました。

本施設は、市民の健康増進やスポーツ振興を図ることを目的として、防衛省の「防衛施設周辺民生安定施設整備事業」を活用し、平成27年度に着手し本年1月に完成したものです。

式典においては、当局の中嶋局長より「本施設は、地域住民の方々の健康増進は元より、アマチュアのみならずプロスポーツの活動の拠点として整備され、スポーツを通し友情の輪を広げ、文化を高め活気に満ちたまちづくりを目指す沖縄市の発展に大いに寄与するものと確信し、今後とも周辺地域の皆様の生活の安定と福祉の向上のため、各種の施策の推進に努めていく」旨の祝辞を述べさせていただきました。

当局といたしましては、本施設がスポーツコンベンションを掲げる沖縄市の益々の発展に寄与することを期待しています。



完成した屋外運動場の外観



テープカットをする桑江市長ほか

## 沖縄市多目的アリーナ【再編推進事業補助金】

米軍再編事業の一層の推進を図り、的確かつ迅速に実施することの重要性に鑑み、地元市町村の御協力により、米軍再編事業の推進が図られる場合に、当該市町村が行う公共用の施設の整備について、特別の措置を講じるため再編推進事業補助金が新設されました。

沖縄市は、同補助金を活用し、一万人規模の多目的アリーナを整備することとし、今般、建設予定地にある野外ステージ（旧闘牛場）の解体工事等に着手したところです。

また、同アリーナは昨年12月9日、国際バスケットボール連盟（FIBA）のバスケットボールワールドカップ2023の開催地に決定され、スポーツを核とした経済活性化を推進し、さらには、沖縄市の魅力を世界に発信することで地域の振興に寄与するものと期待されているところです。

当局としましては、今後とも地元市町村の御理解と御協力を得ながら、米軍再編事業を着実に実施し、沖縄市を始めとする地元の基地負担軽減に努めて参ります。



野外ステージ（旧闘牛場）  
【多目的アリーナ建設予定地】



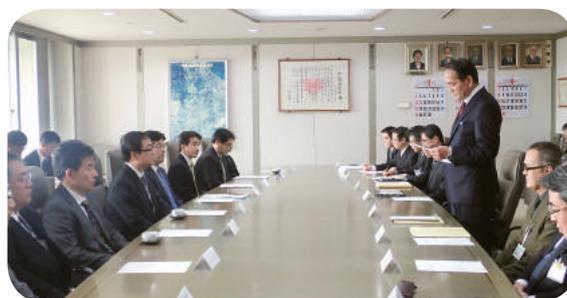
多目的アリーナの完成予想図

## 第4回 嘉手納弾薬庫地区(知花地区)への移設に関する協議会について

2月9日、沖縄市役所において、第4回目となる「嘉手納弾薬庫地区（知花地区）への移設に関する協議会」が開催されました。

協議会では、河川の洪水対策及び渋滞緩和対策などの「基地から派生する諸問題」の解決、多目的アリーナ及び池武当インターチェンジの整備などの「振興・発展に寄与する施策」の進捗を図るべく開催した作業部会において協議された各協議事項に係る報告が行われました。

沖縄防衛局としては、引き続き本協議会を通して、沖縄市が抱える諸問題の解決や振興発展のために取り組んでまいります。



協議会の様子

## 北部訓練場返還地の引渡式及び祝賀会の開催

昨年12月25日、当局は国頭村及び東村との共催により北部訓練場返還地の引渡式・祝賀会を国頭村民ふれあいセンターで開催しました。

引渡式では、小野寺防衛大臣から、大浜沖縄県環境部長、宮城国頭村長、伊集東村長へ記念の楯が手渡されました。また、式典後行われた祝賀会では、山下内閣府大臣政務官、伊集東村長が挨拶を述べられたほか、金城国頭村議会議長による乾杯の音頭により、参加者一同和やかな雰囲気の中歓談し、北部訓練場返還地の土地所有者への引渡しを祝いました。



引渡式での記念撮影

### 小野寺防衛大臣挨拶



本日、北部訓練場返還地の引渡式を開催出来ますことは、ひとえに宮城国頭村長、伊集東村長をはじめ、地元の皆様の御理解と御協力のおかげと心より感謝申し上げます。北部訓練場に

つきましては、長きにわたり米軍が使用してきているところですが、昨年、20年越しに、その過半、約4千ヘクタールの返還が実現しました。

これは、沖縄県内の米軍施設の約2割、本土復帰の後最大の返還となっております。

この度の引渡し、このような沖縄の基地負担軽減を直に感じていただける成果の1つになれば幸いです。

引き続き、防衛省としては、安倍総理大臣のリーダーシップの下、沖縄の基地負担軽減のため、「できることはすべて行う、そして目に見える形で実現する」という思いで最大限努力してまいりますので、今後とも皆様方の御支援と御協力をお願い申し上げます。

改めて今回の返還された土地の引渡しのために御尽力してこられた関係者の皆様方、御支援・御協力をいただいた地元の皆様方に心より感謝申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

※挨拶内容については抜粋して掲載しております。

### 宮城国頭村長挨拶

米軍北部訓練場返還地の引渡式に小野寺防衛大臣をはじめ多くの関係者の皆さんがご出席いただきありがとうございます。

ご存知のように北部訓練場の過半については、平成

8年のSACO最終報告から20年が経過した去年、日本側に返還されました。あれから1年、政府は返還された地域の土壌が汚染されていないか、また、不発弾などの支障物がないかなど調査を進め、このほど作業が終了したことで地権者に引き渡されることになり、今日、記念の式典を開くことになりました。

これもひとえに基地負担軽減の担当であります菅官房長官をはじめご列席いただいている関係者の皆さんの賜だと理解しております。

やんばるの森は去年9月、国立公園に指定され、来年には世界自然遺産の登録を見据えております。返還された跡地は、貴重な自然資源を有する国頭村、東村、大宜味村の発展へ繋げていくため国、県、地権者等と連携して豊かな村作りに取り組んで参りたいと思います。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※挨拶内容については抜粋して掲載しております。



### 記念祝賀会



山下内閣府大臣政務官の挨拶



金城国頭村議会議長による乾杯(祝賀会)



地元の大田多恵子琉舞研究所による琉球舞踊「若衆ゼイ」



伊集東村長の挨拶

### 北部訓練場・過半の返還地に係る支障除去措置の実施

平成28年12月22日の北部訓練場の過半の返還後、当局において、不用品等撤去するとともに、土壌汚染や水質汚濁に係る調査を実施し、土壌や水質について良好な環境であることを確認しました。



(旧ヘリコプター着陸帯の植生回復状況)

(水質汚濁調査を行った河川の一つ)

## 福田防衛大臣政務官の宮古島市訪問について

1月17日、福田防衛大臣政務官は宮古島市を訪問し、下地宮古島市長と面談しました。

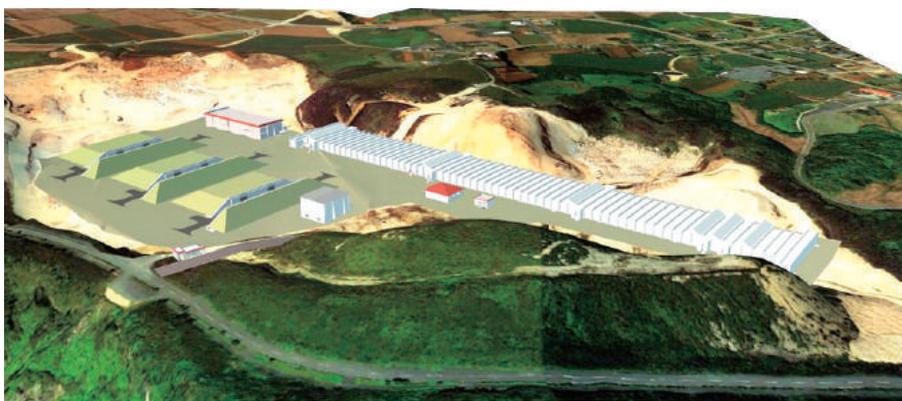
福田防衛政務官から下地宮古島市長に対して、日頃から航空自衛隊宮古島分屯基地に対する暖かいご支援・ご協力をいただいていること、また、千代田カントリークラブ地区における造成工事に着手することができたことのお礼を申し上げました。

さらに、千代田カントリークラブ地区に配置しない地对艦誘導弾及び地对空誘導弾を保管する弾薬庫、屋内射場、訓練場などの配置先について、宮古島の城辺地区にある保良鉱山に配置したい旨を施設配置案等を提示し、説明を行いました。



下地宮古島市長との面談の様子

### 「保良鉱山」における施設配置案（概略鳥かん図）



### 「保良鉱山」における施設配置案



防衛省としては、南西地域の安全保障環境が厳しさを増している中、島嶼部の安心・安全の確保は重要な課題であると考えており、南西地域における防衛態勢強化の観点から、宮古島における陸自部隊の配置を着実に進めていきたいと考えています。

## 福田防衛大臣政務官の自治体等訪問について

福田防衛大臣政務官は、昨年12月19日から20日、また、本年1月18日の2度にわたり、直接、基地所在自治体の現状をより深く知る目的で沖縄を訪問しました。

12月19日から20日には、宜野座村、金武町及び嘉手納町を、1月18日には普天間第二小学校、読谷村の米軍ヘリ着陸現場、嘉手納飛行場、北谷町及び沖縄市を訪問し、各地の視察及び関係市町村長等との面談を行いました。

面談した市町村長等からは、基地が所在することによる懸案事項や、各自治体が誇りにされているまちの紹介や取り組み・施策などについての説明があり、基地問題だけにかかわらず、まち全体を案内していただきました。



當眞宜野座村長から、「道の駅ぎのぞ」において、村の特産品及び農産物加工品の説明を受ける政務官



當眞嘉手納町長から、「道の駅かでな」において、嘉手納飛行場に係る懸案事項の説明を受ける政務官



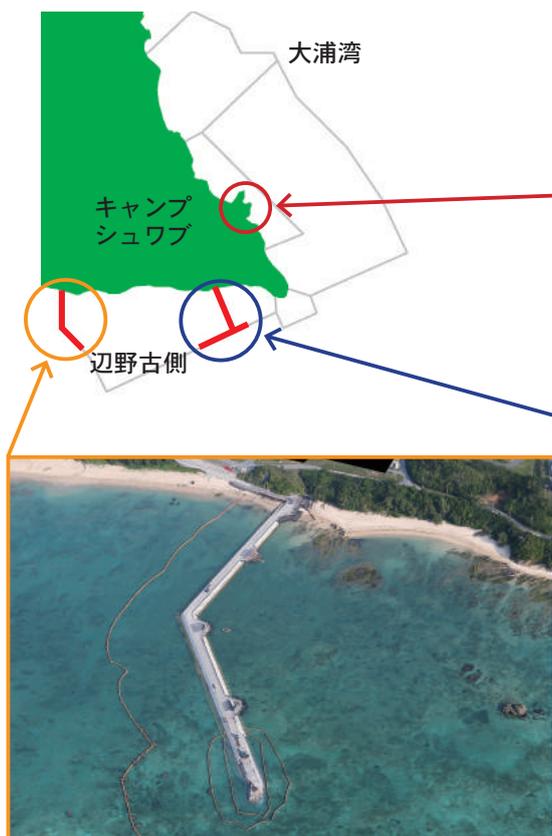
桑江沖繩市長から、「沖繩市多目的アリーナ整備事業」建設予定地において、計画概要の説明を受ける政務官

## 普天間飛行場代替施設建設事業の進捗状況

キャンプ・シュワブの沿岸部における普天間飛行場代替施設建設事業につきましては、昨年11月、辺野古側の護岸工事に着手しました。3月末現在、辺野古側（西側）については、K1護岸及びK2護岸がほぼ完成し、K3護岸の施工を進めています。また、辺野古側（中央部）については、N5護岸がほぼ完成し、K4護岸の施工を進めているところです。

さらに、昨年12月より、大浦湾側の仮設道路にも着手しています。

当局としては、工事の実施に当たり、引き続き、作業の安全に十分留意した上で、関係法令に基づき、自然環境や周辺住民の方々の生活環境に最大限配慮いたします。



大浦湾側仮設道路の施工状況（3月13日現在）



辺野古側（西側）護岸の施工状況（3月13日現在）



辺野古側（中央部）の施工状況（3月13日現在）

## 環境監視等委員会（第11回、第12回、第13回）を開催



第12回環境監視等委員会での議論の様子

1月16日（第11回：防衛省及び沖縄防衛局）、2月8日（第12回：沖縄防衛局）及び3月13日（第13回：防衛省及び沖縄防衛局）、「普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境監視等委員会」を開催し、当局から、サンゴ類の生息状況などについて説明を行い、討議が行われました。

普天間飛行場代替施設建設事業の実施に当たっては、これまでも環境監視等委員会の指導・助言を踏まえ、適切な環境保全に努めてきたところであり、今後も引き続き同委員会の指導・助言を踏まえて適切に進めてまいります。

## うるま市伊計島東側の海岸で発生したUH-1Yの着陸について

### ●着陸の概要

1月6日、16時頃、普天間飛行場に所属するUH-1Yが、飛行中、メインローターの回転速度超過を示す警告表示により、伊計島東側の海岸に着陸したものの。

### ●米軍の対応

機体のブレードを取り外しの上、8日、別の機体（CH-53E）により、当該機を吊り下げてホワイトビーチ地区まで搬送しました。

## 読谷村で発生したAH-1Zの着陸について

### ●着陸の概要

1月8日、16時45分頃、普天間飛行場に所属するAH-1Zが、テールローターのギアボックスで微小な電気的事象を検知し、警告灯が点灯したため、読谷村の比謝川行政事務組合一般廃棄物最終処分場敷地内に着陸したものの。

### ●米軍の対応

現場における整備員の点検および安全性を確認の上、9日午前、当該機は現場を離陸し、普天間飛行場に帰投しました。

## 渡名喜村で発生したAH-1Zの着陸について

### ●着陸の概要

1月23日、20時05分頃、普天間飛行場に所属するAH-1Zが、コックピットの警告表示を受け、渡名喜村のヘリポートに着陸したものの。

### ●米軍の対応

機体を点検したところ、ローターのギアボックスの圧力センサーの一つに問題があり、当該部品を交換した上で、再度機体の安全点検および運用点検を実施し、24日11時頃に現場を離陸し、普天間飛行場に帰投しました。

## うるま市伊計島西側の海岸で発生したMV-22の部品漂着について

### ●着陸の概要

2月9日、9時頃、伊計島西海岸の大泊ビーチ管理者が、海岸で部品を発見し、その後当局から当該部品について米側へ照会したところ、2月8日にMV-22の右エンジンの空気取り入れ口のカバーが落下したものであることが判明したものの。

### ●米軍の対応

今般の事案を受けて、原因を調査するとともに、日本政府への通報や情報共有に関する米側の手続きについて、再確認を行い、引き続き改善していく旨の説明がありました。

## F-15戦闘機の部品遺失について

### ●着陸の概要

2月27日に嘉手納飛行場所属のF-15のアンテナが遺失したとの連絡が、3月5日に米側からあったもの。

### ●米軍の対応

当該アンテナは海に落下した可能性が高く、在日米軍は、連絡が遅滞した理由を特定するために部隊と協力している旨の説明がありました。

## 防衛省および沖縄防衛局の対応

度重なる米軍機のトラブルに対して、安倍総理大臣からトランプ大統領に対し、米軍機の厳格な安全確保を要請しました。また、マティス国防長官から小野寺防衛大臣に対して、ヘリの着陸が続いていることに対する謝罪があり、再発防止について、重要な課題として取り組むとの表明がありました。

当局は、それぞれの事案発生の一報を受けたのち、速やかに、現場に向かい、関係自治体等に情報提供を行いました。また、原因究明及び再発防止について、米側に申し入れています。

引き続き、米側に対しては、全ての航空機について徹底的な整備・点検を実施し、再発防止のための対策に万全を期すよう強く求めています。

## 第26回 防衛セミナー開催

1月25日、沖縄コンベンションセンターにおいて、同志社大学法学部の村田晃嗣教授をお招きし、「トランプ政権下の日米関係」をテーマに第26回防衛セミナーを開催いたしました。

当日来場した約270名の方々に対し、村田教授から、トランプ政権が置かれている状況、北朝鮮情勢、中国情勢、わが国を取り巻く安全保障環境への対応策等について、数字を用いて具体的に分かりやすく説明をいただきました。

来場者からは「難しい内容を分かりやすく解説してくれた」「多角的に分析されていて勉強になった」などの感想をいただきました。

当局では、防衛政策等について、より多くの皆様に理解を深めていただく一助となるよう今後も防衛セミナーを開催してまいります。

また、今回のセミナー開催にあたっては、宜野湾市、浦添市の後援をいただきました。



## 「平成29年度 在日米軍従業員永年勤続者表彰式」開催

昨年12月15日、在日米軍従業員永年勤続者表彰式が、日米共催で沖縄市民会館にて行われ、869名の方々が受賞されました。



式典では、主催者代表の高木沖縄防衛局次長と海兵隊バトラー基地司令官ロック准将からの式辞に続いて、各軍司令官から代表者5名の方々に表彰状と記念品が授与されました。その後、来賓の富川副知事をはじめ、新里県議会議長、リチャードマットン副領事、與那覇全駐労沖縄地区本部執行委員長から祝辞をいただき、最後に受賞者を代表し海軍に勤務する徳森明男様より、勤続30年に想いを馳せた謝辞が述べられ、厳かな雰囲気の中で表彰式は終了しました。

## 住宅防音事業に関するお知らせ (75W区域の建具復旧工事について)

嘉手納飛行場及び普天間飛行場周辺の防音建具機能復旧工事については、対象となる世帯数が多いことから、一部希望届の受付制限を設け、騒音による障害が著しい区域に所在する住宅を優先的に実施してきています。これまで、平成11年度に85W以上の区域の希望届の受け付けを開始し、平成23年度に80W区域までその範囲を拡大したところです。

更に今後は、75W区域において建具復旧工事を行うこととし、本年1月から、当該対象世帯の皆様に対し、直接希望届の配付を行い、2月末までに配付を完了したところです。

本件建具復旧工事につきましては、当面の間、昭和57年度と昭和58年度に住宅防音工事を実施した住宅を対象に、3月末までに受付けた希望届の中から、工事の実施時期が古い順に実施いたします。

なお、対象世帯の皆様には、今後、当局から「住宅防音事業補助金交付申込書」を配付致しますが、予算の都合上、希望届の受け付けから同申込書の配付まで相当期間を要する場合がございますので、皆様には配付までの間、お待ちいただくようお願いいたします。

当局といたしましては、住民の皆様方が長期にわたりお待ちいただくことがないよう、今後とも引き続き、予算確保に努めてまいりたいと考えております。

(問い合わせ先) 沖縄防衛局 企画部 住宅防音課 TEL : 098-921-8150



ハイスাইくん

「はいさい」に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたらお聞かせください。  
連絡先：沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納 290-9 沖縄防衛局総務部報道室  
メールアドレス：houdou-ok@okinawa.rdb.mod.go.jp